

成果報告会と修了証授与式

人文社会学部と経済学部との合同主催で成果報告会を実施しました。参加者は、総勢 36 名でした。成果報告会終了後、修了証の授与式を行い、各国研修参加者へ修了証と記念品の授与が行われました。その後、研修参加者と名古屋市立大学教職員・学生らによる懇親会を行いました。懇親会では、食文化や自国の文化等について活発な意見交換がなされ、それぞれに親交を深めることができました。



さくらサイエンスプラン修了証授与式後の記念撮影

【6日目】10月27日（土）

名古屋市科学館の見学

名古屋市科学館には看護学部生4名が研修生に同行し、科学館までのガイド、管内での通訳を担当しました。科学館で人気が高かったスペースの一つに、竜巻ラボがあり、人工的に竜巻そっくりの空気の渦をつくり出すことができる実験装置に相当驚いていました。ミニチュアで名古屋が見られる展示、日本家屋の展示があるところ、日本の家や世界各国の民族衣装が設置してあるコーナーもみな大変興味をもって見学をしていました。科学博物館には中部国際空港の模型、実際に体験して動かせる装置だったり幅広い年齢層に対応した工夫が施されており、学生達も喜んで触ったり写真を撮ったりしていました。また、名古屋市の世界最大のプラネタリウム鑑賞も行いました。中での説明もみな熱心に聞き、終わった後にはすごくリアルだった、美しかったとの感想が述べられました。プラネタリウムの大きさ、映し出される星空の迫力リアルさに圧倒されたとの感想が東ティモールの参加者から述べられていました。



名古屋市科学館のプラネタリウムの見学をした時の様子

【7日目】10月28日（日）

中部国際空港から、モンゴルおよび東ティモールに向けて帰国しました。